

全組合員の総力を挙げて 2021賃金確定闘争を闘い抜こう

第一波
総決起集会

一時金の引下げに断固反対し、定年延長制度に係る条件整備は我われの要求を勝ち取ろう



▲会場には110名の組合員が結集した

わが組合は、勧告後直ちに区長会に対し要請行動を行いました。2年にも及ぶコロナ禍で、職員は感染の

危険を感じながらも、区民の衛生環境を維持するために不断の努力を重ねてきています。その結果が2年連続の一時金の引下げでは到底納得できるものではありません。特別区人事委員会

にも、早期に勧告を出すこと。併せて、国や他団体の動向に左右されることなく、自主的・主体的な勧告をするよう要請しました。しかし、内容も勧告時期もわが組合の要請に全く答えていないという事に対して、特別区人事委員会を強く糾弾する」と発言がありました。



▲人勸を糾弾する江森委員長



LINE 公式アカウント・Twitter の「友だち」「フォロワー」に
なってください!

立憲民主党参議院比例第15総支部長
鬼木まこと 自治労の政策要求を実現しよう!

自治労は、第26回参議院選挙の全国比例区に「鬼木まこと」さん(自治労中央本部書記長)の擁立を決定しました。

鬼木まことプロフィール
1963年福岡県筑野市生まれ。1982年福岡県庁入局。2014年から自治労中央執行委員。現職に至る。

2年連続の一時金引下げは到底納得ができません。10月20日(水)第一波総決起集会当日に出された特別区人事委員会勧告は、月

例給については僅少であることから据え置くとしたものの、一時金については0・15月引き下げ、全額を期末手当から差し引くとした内容でした。(再任用は0

冒頭、江森委員長の挨拶で9月2日に実施したわが組合四役による特別区人事委員会への要請行動に

危機を感じながらも、区民の衛生環境を維持するために不断の努力を重ねてきています。その結果が2年連続の一時金の引下げでは到底納得できるものではありません。特別区人事委員会

わが組合は10月20日(水)連合会館において、結集した110名の組合員とともに「2021賃金確定闘争第一波総決起集会」を開催しました。今回の集会も社会情勢を鑑み、規模や時間等も考慮しての開催となりました。9月2日に特別区人事委員会に対し早期に勧告を出すよう要請しましたが、集会当日に勧告が出るという例のない集会となりました。

は、月例給の公民格差算出に当たり、特例的な措置として差額支給者を公民比較から除外し算出した点と、一時金の支給月数を全国一高いものを維持したことについては、これまでの要請等の結果として一定の評価はできません。しかし、昨年に引き続き、特例措置を「一時的なものとしたことは、職員の不安を煽るものであり、遺憾と言わざるを得ません。本勧告の取扱いについては、日々職務に精励している職員の職務内容を十分に踏まえ、特段の配慮と対応を要請しました。

決意表明された仲間



第四地連 吉田事務局長



第一地連 近藤事務局長



第五地連 星野議長



第二地連 原田議長



一組支部 内山副委員長



第三地連 平山議長

2021賃金確定闘争 今後の主な行動日程

11月	日	時間	会場
5日(金)	第四地連総決起集会	17:30~	板橋グリーンホール
5日(金)	第1回拡大闘争委員会	18:00~	日本教育会館
12日(金)	区長会会長要請行動	11:30~	区政会館
15日(月)	第三波総決起集会	18:00~	一ツ橋ホール
16日(火)	区長会要請	13:27~	区政会館